

平成27年度独立行政法人 労働政策研究・研修機構に関する  
評価アンケート調査実施概要

1. 調査目的

本調査は、労働政策研究・研修機構の第3期中期目標、中期計画において、「有識者等を対象としたアンケート等を通じて、業務運営及び成果に対する意見及び評価を広く求めるとともに、これを各事業部門へフィードバックし、業務運営の改善に資する」、「労働政策研究の成果や機構の事業活動全般についての有識者を対象としたアンケート調査を実施し、3分の2以上の者から研究成果が有益であるとの評価を得る」との目標に基づき、労働分野の有識者等を対象に機構に対する意見及び評価を広く把握し、その結果を業務改善等に反映することで、適正で質の高い業務運営の確保に資するとともに、厚生労働省独立行政法人評価委員会のための基礎資料とすることを目的として実施したものである。

2. 調査実施項目

- ・調査票発送：平成28年2月1日（月）
- ・調査票締切：平成28年2月17日（水）

3. 調査対象（ ）内は昨年度

・学識経験者	： 1, 080名	（1, 120名）
・地方行政官	： 282名	（ 282名）
・労働組合	： 277名	（ 288名）
・使用者	： 285名	（ 291名）
合 計	： 1, 924名	（1, 981名）

4. 回収率

610件（回収率：31.7%）

\*昨年度515件（回収率：25.9%）

5. 委託先

株式会社サーベイリサーチセンター

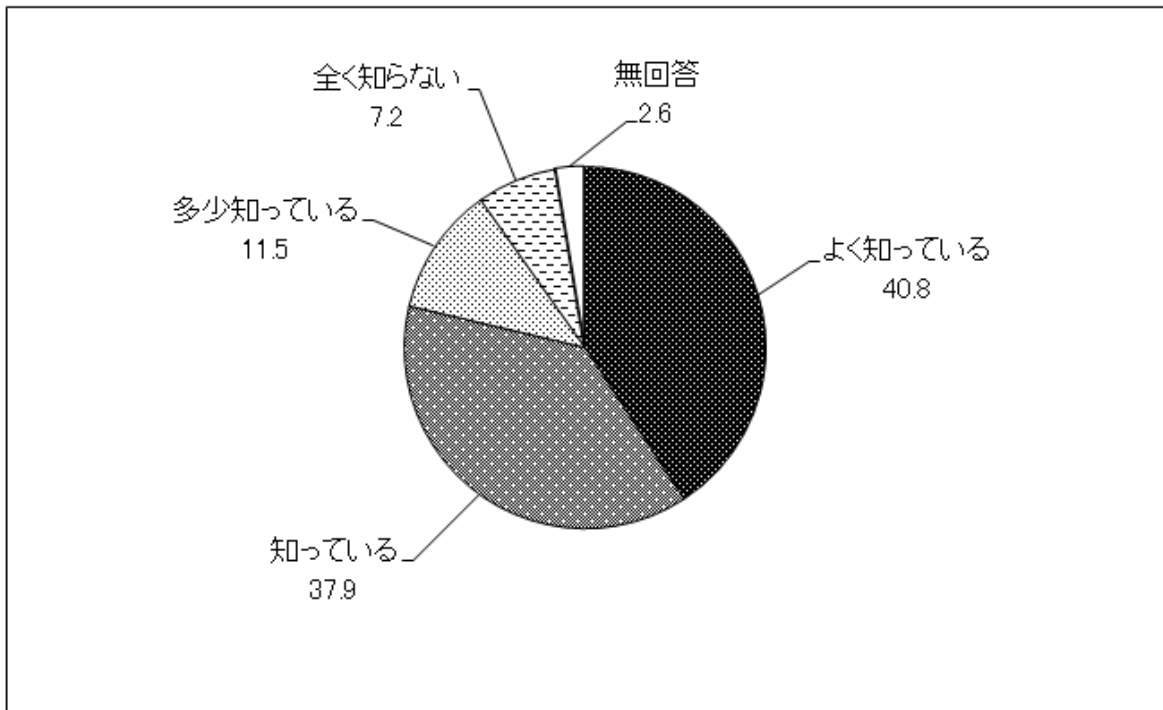
## 6. 結果

### <当機構の事業活動全般について>

問1 労働政策研究・研修機構（以下「機構」といいます。）をご存知ですか。

1. よく知っている
2. 知っている
3. 多少知っている（名前を見たり聞いたりしたことがある程度）
4. 全く知らない

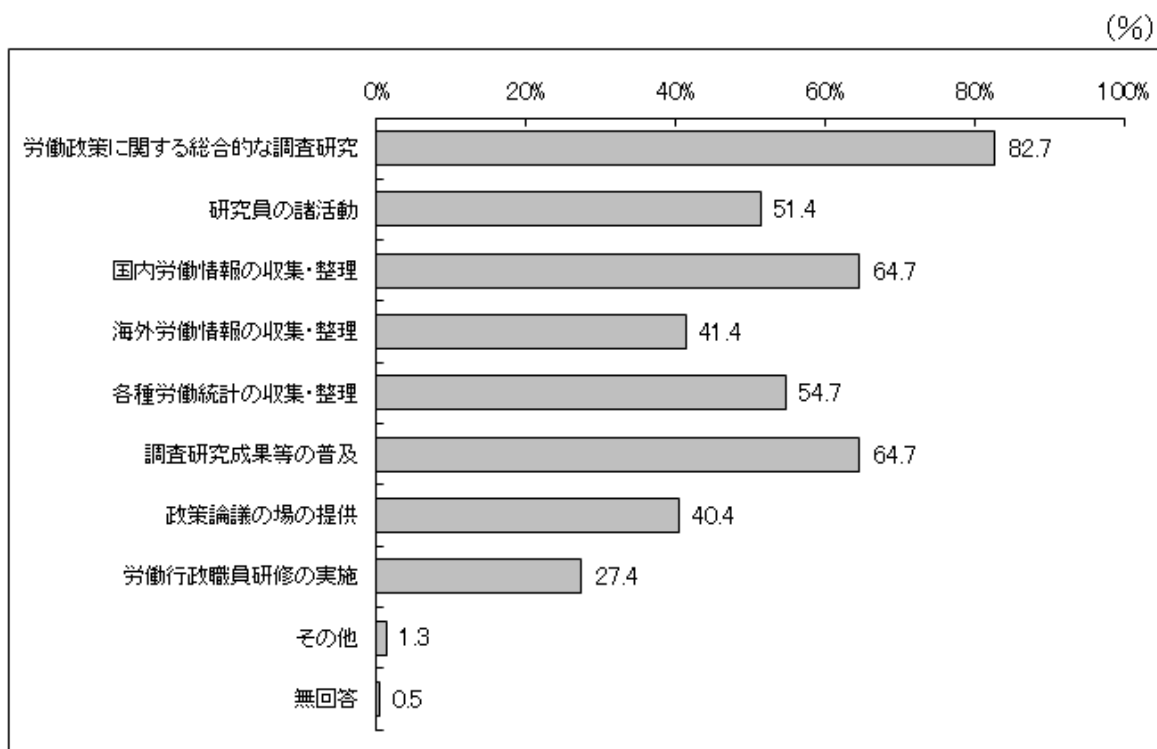
（認知率） 610人中 認知率 78.7% 昨年度 80.0%  
(%)



調査数	よく知っている	知っている	多少知っている	全く知らない	無回答
610(件)	249	231	70	44	16
100(%)	40.8	37.9	11.5	7.2	2.6

問2 機構のどのような活動をご存知ですか。あてはまる番号すべてに○を付けて下さい。

1. 労働政策に関する総合的な調査研究（労働政策研究報告書、ディスカッション・ペーパー、厚生労働省編職業分類等）
2. 研究員の諸活動（委員会等への参画、新聞・雑誌等への寄稿・執筆、講演など）
3. 国内労働情報の収集・整理（『ビジネス・レバー・トレンド』、『調査シリーズ』等）
4. 海外労働情報の収集・整理（『国別労働トピック』等）
5. 各種労働統計の収集・整理（『ユースフル労働統計』、『データブック国際労働比較』等）
6. 調査研究成果等の普及（『日本労働研究雑誌』、ホームページ等）
7. 政策論議の場の提供（労働政策フォーラム等の開催）
8. 労働行政職員研修の実施（「労働行政職員一般研修」、「労働行政職員専門研修」等）
9. その他（ ）

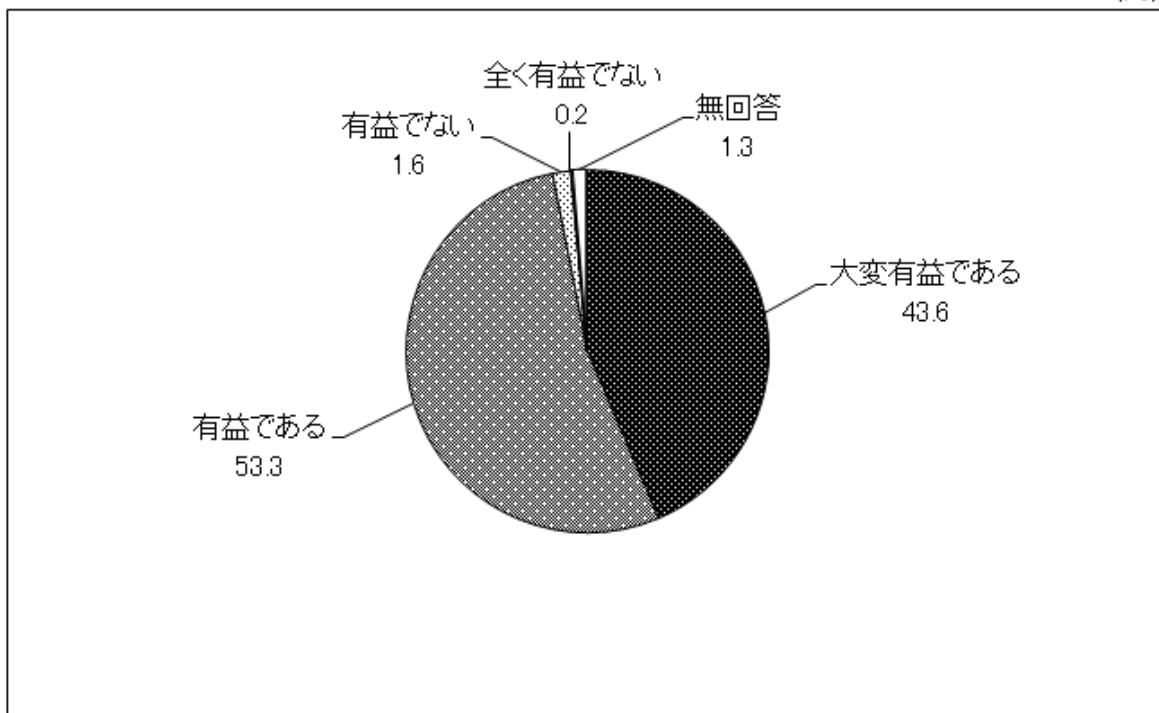


調査数	労働政策に関する総合的な調査研究	研究員の諸活動	国内労働情報の収集・整理	海外労働情報の収集・整理	各種労働統計の収集・整理	調査研究成果等の普及	政策論議の場の提供	労働行政職員研修の実施	その他	無回答
550(件)	455	283	356	228	301	356	222	151	7	3
100(%)	82.7	51.4	64.7	41.4	54.7	64.7	40.4	27.4	1.3	0.5

問3 機構の活動を総合的に判断した場合、どのように評価しますか。あてはまる番号に一つだけ○を付けて下さい。

1. 大変有益である
2. 有益である
3. 有益でない
4. 全く有益でない

(有益率) 550人中 有益率 96.9% 昨年度 96.5%  
(%)

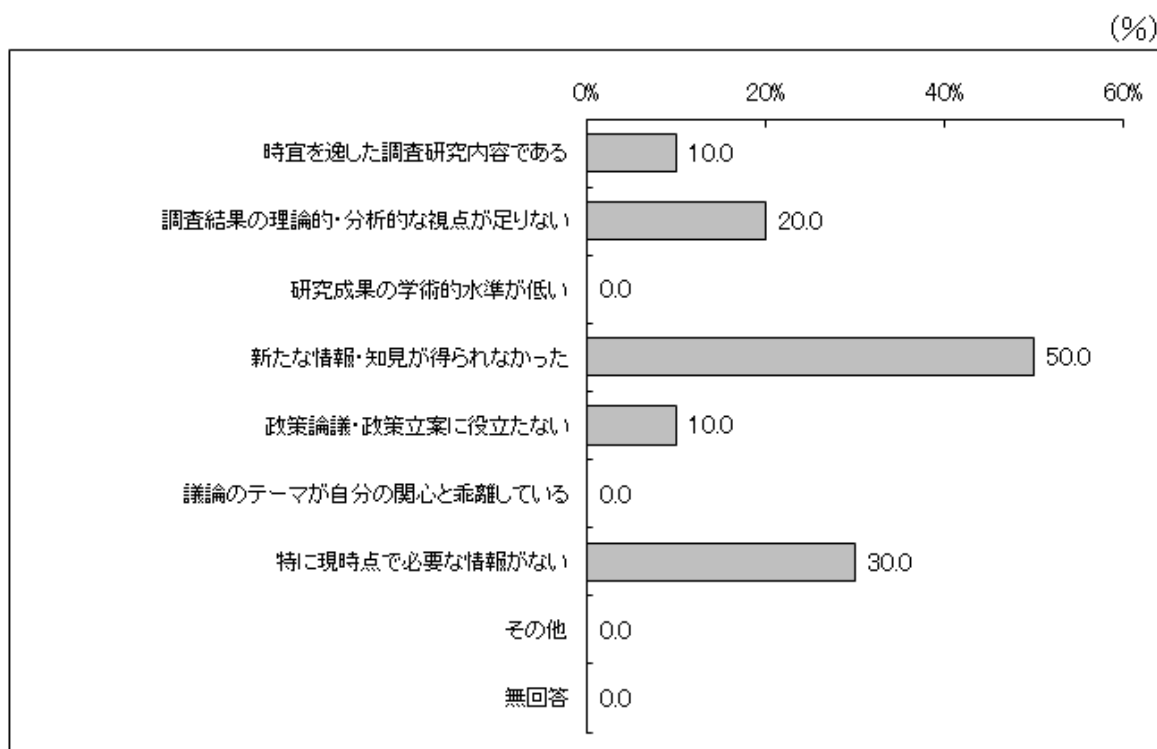


調査数	大変有益である	有益である	有益でない	全く有益でない	無回答
550(件)	240	293	9	1	7
100(%)	43.6	53.3	1.6	0.2	1.3



問5 問3で「有益でない」「全く有益でない」と回答された方に伺います。そのように判断した理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○を付けて下さい。

1. 時宜を逸した調査研究内容である
2. 調査結果の理論的・分析的な視点が足りない
3. 研究成果の学術的水準が低い
4. 新たな情報・知見が得られなかった
5. 政策論議・政策立案に役立たない
6. 議論のテーマが自分の関心と乖離している
7. 特に現時点に必要な情報がない
8. その他 ( )



調査数	時宜を逸した調査研究内容である	調査結果の理論的・分析的な視点が足りない	研究成果の学術的水準が低い	新たな情報・知見が得られなかった	政策論議・政策立案に役立たない	議論のテーマが自分の関心と乖離している	特に現時点に必要な情報がない	その他	無回答
10(件)	1	2	-	5	1	-	3	-	-
100(%)	10.0	20.0	-	50.0	10.0	-	30.0	-	-